

# EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA



えい けい  
叡啓大学  
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

ソーシャルシステムデザイン学部 (仮称)  
ソーシャルシステムデザイン学科 (仮称)

未来を啓く学びが、  
ここにあり。

# 叡啓大学

(仮称)

ソーシャルシステムデザイン学部(仮称)／ソーシャルシステムデザイン学科(仮称)  
**2021年4月開学** 予定

## あなたの未来を、社会を、デザイン。

10年後、20年後の社会は、どうなっていると思いますか。

人口減少やグローバル化、AIなどの技術革新が急激に進み、

想像もつかない世の中になっているかもしれません。

また、「人生100年時代」と言われる中、単線型の人生でなく、

教育と仕事を行き来するなど、マルチステージの人生への変化が予想されます。

だから、私たちは、新しい大学を創ります。

こうした世の中を生き抜くための土台・基盤となる学びを提供し、

人生を通じて学び続ける力・姿勢を育て、そんな大学を創りたいと考えています。

「何を知っているか」ではなく、「知識を活用し、他者と協働しながら、新たな価値を生み出せるか」。

そこに重点をおいた新しい教育で、予測不可能な時代を切り開いていくことができる人材を育てたいのです。

学生には、社会における様々な仕組みを理解した上で、自ら課題を発見し、

解決策を立案して実行することで、新たな価値を創り出し、

社会にイノベーションを起こして欲しい。

それが「ソーシャルシステムデザイン」だと考えます。

あなたがデザインするのは、どんな社会でしょうか。ぜひ私たちに見せてください。



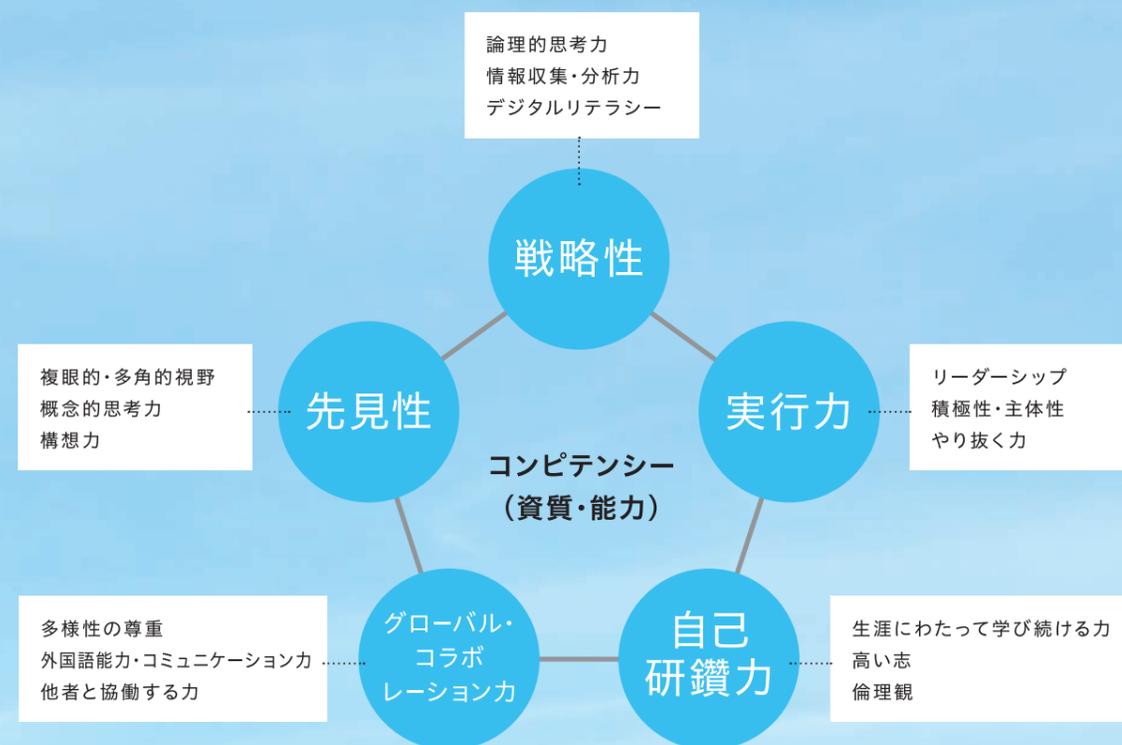
学長予定者 有信 睦弘  
(現・国立大学法人東京大学 大学執行役・副学長)

### 育成を目指す人材像

先行きが不透明な社会経済情勢の中で、地域社会や世界に貢献する高い志を持ち、  
解のない課題に果敢にチャレンジし、粘り強く新しい時代を切り開いていく人材

### 本学の教育

個人や個別企業などの利益や成長だけではなく、社会全体としての価値の創造を目指し、  
持続可能な開発目標(SDGs)を念頭に、経済・社会・環境を巡る様々な課題に対して、  
経済的価値と社会的価値を同時達成できるような統合的な解決策を立案できる力を育成します。  
そのために、本質的な課題を発見できる「先見性」、解決策を立案できる「戦略性」、  
自らリーダーとしてやり抜く「実行力」、高い志を持ち学び続ける「自己研鑽力」、多様性を尊重し  
他者と協働する「グローバル・コラボレーション力」の修得を目指します。



### 卒業後(将来)の 活躍イメージ

- 様々な業種・組織において、海外事業展開を主導したり、  
商品開発や新規事業を企画立案したりするなど即戦力として活躍。
- 自ら起業。
- 国際的な社会貢献を目指すため、海外の大学院へ進学し、学びを深める。

# 知識・スキルの 「修得」

## アクティブ・ラーニング EIKEI standard

### 1クラス25人の少人数教育

より学生一人ひとりに応じた指導を行うため、原則として1クラス25人程度で授業を実施します。  
※英語集中プログラムは1クラス16人程度

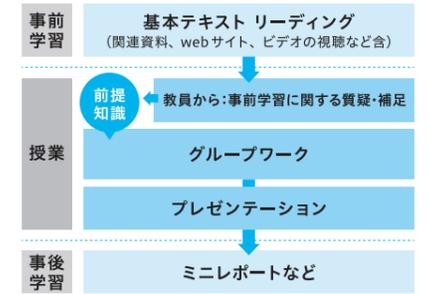
### 主体的に学べる100分授業

学生同士の対話やグループディスカッション、質疑応答の時間を多く確保します。そのための事前学習、事後学習を義務付けます。

### 2コマ連続授業だから集中して取り組める

1コマ100分の授業を2コマ連続で行うことで、同時期に並行して履修する科目が少なくなり、ひとつの授業に集中して取り組むことができます。

### アクティブ・ラーニング(基本モデル)



## SDGsを意識したリベラルアーツ



SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS) は国連サミットで採択された、持続可能な開発のための国際目標です。この実現を目指して、SDGsの17のゴールを国連が分類した5つのP (Peace 平和、Partnership 共創、People 人間、Prosperity 繁栄、Planet 地球) を軸として設定し、様々な学問分野を横断的に学修します。



## 学びの軸とする5つのP

### 基盤科目

5Pのうち、Peace (平和) とPartnership (共創) に分類されるリベラルアーツ科目については、学生全員が履修します。

5P	修得する知識
Peace 平和	平和な社会の構築や多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基盤となる知識を修得
Partnership 共創	

### 発展科目

People (人間)、Prosperity (繁栄)、Planet (地球) の3つから、学生が興味・関心に応じて、それぞれに分類されるリベラルアーツ科目を履修します。

5P	名称	修得する知識	主な学問領域
People 人間	アイデンティティ デザイン	多文化共生社会で人々の多様性を尊重する仕組みなど、社会課題に関する知識を修得	人文学関係
Prosperity 繁栄	ビジネス デザイン	グローバル化する経済・社会の仕組みや産業、技術発展などに関する知識を修得	経済学関係
Planet 地球	エコシステム デザイン	自然と共存しながら発展するための環境保全や生物多様性に関する知識を修得	理学関係 (環境学部分)

## 多様なキャリアを持つ教員陣

本学には、社会人経験を経て学問の道へ進んだ教員や、専門分野で様々な経験を持つ教員が揃っています。“変化の激しい時代を生き抜く学び”とは何か。教員自身の経験や研究を踏まえて学生の皆さんに伝えるだけでなく、共に考え、実践できる場を準備します。

### 粥川 準二 准教授

博士(社会学)

2020年春、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、いくつもの解決すべき「課題」が私たちの目の前にできました。新型コロナウイルス感染症が去っても、課題は存在し続けるでしょう。私の専門の社会学は「社会はどのように成り立っているのか?」を探るための学問ですが、その応用方法は無限です。授業で得られる知識やスキルは課題の解決に役立つはずですが、“アフター・コロナ”の社会課題に取り組む授業を、皆さんと一緒に試してみたいですね。



**Profile**  
愛知県出身。フリーランスのサイエンスライターなどを経て現職。

### 土本 康生 准教授

博士(政策・メディア)

あなたはコンピュータを上手に使えていますか? 新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、情報通信技術 (ICT) を使える人と使えない人、活用できた国とできない国の間で大きな差が生まれました。ICTは世の中を変えられる大きな力を持っています。これから先、必ずしもICTのプロになる必要はないですが、どのような分野の仕事に就くにしても利用者としてプロであることが求められます。観光学のツール系科目でICTを利用したレベルの高い仕事の仕方を身につけ、あなたの夢を実現して欲しいと考えています。



**Profile**  
ラジオ好き。好きが高じて番組に出演、自主制作していたこともあり。

### 上杉 裕子 教授

博士(学術)

観光学はグローバル人材教育を目指しています。ではグローバルな人とはどのような人でしょうか? 英語ができる人? それとも海外経験がある人? その答えは観光学にアリ! まずどんな科目でも英語で受講できるように、集中的に英語力を鍛えるプログラムでスタート。英語溢れるキャンパスでは毎日が英語のシャワー! その後、斬新かつ多様な方法により、海外で活躍できるグローバルマインドを培い、学生の国際力を向上させていきます。



**Profile**  
広島県出身。大学時代米国留学。高校教諭、高専准教授を経て現職。

# 学内・学外での「実践」

多様な主体をつなぐプラットフォーム  
EIKEI style

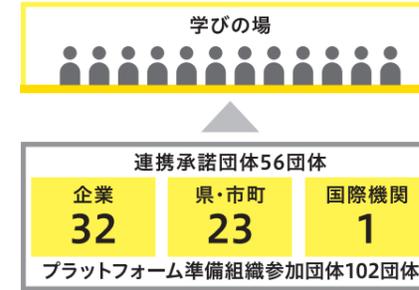
## 学びの場は“オール広島県”

実社会で生じている課題を教育に積極的に取り入れていくことができるよう、企業やNPO、国際機関、地方公共団体など学外の様々な主体と連携を行う「プラットフォーム」をオール広島県で構築します。

## 連携承諾団体56団体の課題から学ぶ

企業や自治体の課題を演習テーマとして設定し、解決へのプロセスを実践的に学びます。自ら考え行動に移し、答えを導き出す基礎を養えるのも、観啓大学ならではの学び。連携承諾団体は、さらに増えていく予定です。

## 多様な主体をつなぐプラットフォーム



2020年1月末現在

## 課題解決演習(PBL)のテーマ例

企業などのタイプ	課題タイトル(例)
民間企業(食品)	海外展開に向けた市場環境調査と消費者ニーズ把握
民間企業(IT)	新たなITサービスのアイデア創出
民間企業(交通)	データを活用したまちづくりサービス開発
民間企業(保険)	高齢ドライバーの事故を減らす取り組みの提言
自治体(市町)	少子高齢化の進行に伴う伝統文化の継承

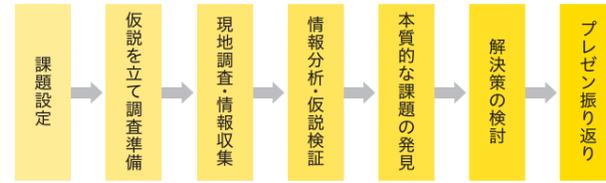
## 実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習(PBL)



本学では、課題解決演習(PBL)をカリキュラムに導入します。1年次は「課題解決入門」を全員必修とし、学生は自らに足りない知識やスキルを自覚します。

2・3年次では、企業などから提供された課題の原因を探求し、解決策の提案までを行う演習に複数回取り組み、課題発見・解決力や他者と協働する力、やり抜く力などを養います。

### 課題解決演習(PBL)の流れ

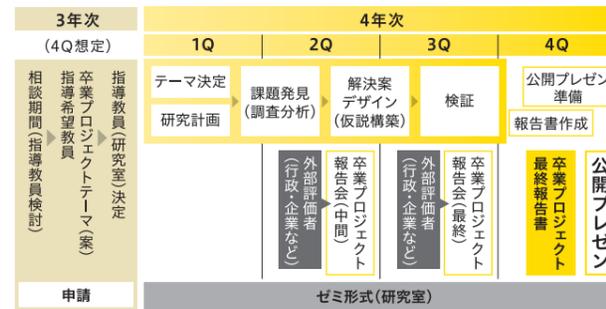


## 卒業プロジェクト

最終年次の1年間で、学生が自ら解決すべき課題を設定して、課題の原因究明から解決策の提案までを行います。

個別の卒業プロジェクトテーマに関する課題研究をゼミ形式で進め、中間・最終の2度の報告会を行います。報告会には、外部評価者として企業・行政などのステークホルダーを招き、それぞれの課題研究に対して、新規性、実現可能性などの観点からフィードバックをもらいます。学生はそれを踏まえて報告書をまとめ、公開プレゼンテーションの場で成果を発表します。

### 卒業プロジェクト(全体概要)



早田 吉伸 准教授 博士(システムデザイン・マネジメント学)

激しい環境変化を背景に、これまでの社会システムが機能しなくなっています。これは、私たち一人ひとりが自分ごととして解決していく問題です。そのために必要となるのが、自ら問いを立て、仲間と共に、仮説・検証を通してその答えを創造していく力、「デザイン力」です。身につけるには、実践しかありません。現実の企業や行政などとの共創経験は、皆さんの今後の人生の大きな財産になると信じています。さあ、一緒に学びのフィールドへ向かいましょう!



**Profile**  
NEC・内閣官房などでの実務活動を経て現職。地域活性化伝道師(内閣府)。

田口 陽子 准教授 博士(社会学)

大学は社会の一部ですが、社会から少し離れて学問に打ち込める特別な場所でもあります。この機会に、違う角度から物事を見たり、じっくり考えたり、新しいアイデアを試してみよう。観啓大学では、学んだ知識やツールを生かして、学外のリアルな課題に取り組むことができます。これは私の専門である文化人類学のフィールドワークと似ています。それぞれの現場で異なる知恵や技術や価値を学ぶことで、皆さんの世界を豊かにしてください。



**Profile**  
インドをフィールドとする人類学者。一橋大学大学院講師などを経て現職。

## 多彩な可能性を広げる体験・実践プログラム

プラットフォーム参画企業や国際機関などと連携し、インターンシップやボランティア活動・留学などに取り組むプログラムです。在学中に一度は国外での活動を必須とし、4単位以上(2科目以上)を履修。担当教員の指導のもと、事前学習、事後学習を組み込んだカリキュラムで、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。皆さんそれぞれの興味や関心に応じて、プログラムを選択してください。

### 標準学修フロー



### 国内プログラム

科目	内容	期間
国内インターンシップA	2年次または3年次に、県内企業、市町や県の行政機関、国際機関などにおける日常業務の一端を担うことにより、積極的に社会への関心を高め、仕事に対する理解を深めます。	2週間から数か月程度 ※国内インターンシップBは4週間以上
国内インターンシップB	国内インターンシップBは、学生同士による引継ぎを想定したプログラムです。前任の学生から業務手法や成果を引き継ぎ、発展させ、また後任となる学生に業務の内容を引き継ぐことによって、業務への責任感と理解をより深め、新たな学びや気づき生まれることが期待されます。	
国内ボランティア	2年次または3年次に、県内で非営利組織の活動支援を行っている団体の協力を得て、地域おこしや災害支援、教育、外国人観光客対応などの活動に関わることで、自発的な社会貢献の経験を積みみます。	

※インターンシップについては、PBLと同様に、プラットフォーム参画企業が主な受入機関となります。

### 海外プログラム

科目	内容	期間
海外インターンシップ	2年次または3年次に、海外でのインターンシップを紹介している民間団体の協力を得て、企業などでビジネスの実務を経験することにより、異文化への関心を高め、交渉能力、協働する能力を高めます。	2週間から数か月程度
海外ボランティア	2年次または3年次に、海外でのボランティアを紹介している団体の協力を得て、主に開発途上国で活動中のNGOなどにおいて実施します。社会背景の異なる環境下での体験を通して、現地の支援活動に貢献しながら、積極的に異文化への関心を高め、多様性への理解を深めます。	
海外短期プログラム	2年次または3年次に、学外協力機関が提携する大学や、本学独自の提携大学の中から選択し、海外大学でのサマースクールなどの短期プログラムに参加します。	

※学外協力機関との連携により実施します。

その他、観啓大学と交換留学協定を結んだ大学との交換留学(半年または1年)も可能です。

瀬古 素子 講師 Master of Science in Women's Studies

2020年、世界は新型コロナウイルス感染症という地球規模課題に直面しています。今般のパンデミックは人々の国際移動とともに広がり、過去何十年分の政治・経済・社会的なグローバル化を逆行させました。しかし世界的な課題は国境を越えた協力や相互理解、多様性を前提とした協働なしには克服できません。正答のない様々な課題に挑むことは国際協力の醍醐味であり、海外での実務体験は皆さんの学びや思考により多くの刺激を与えてくれるはず。共に世界に足を踏み出していきましょう。



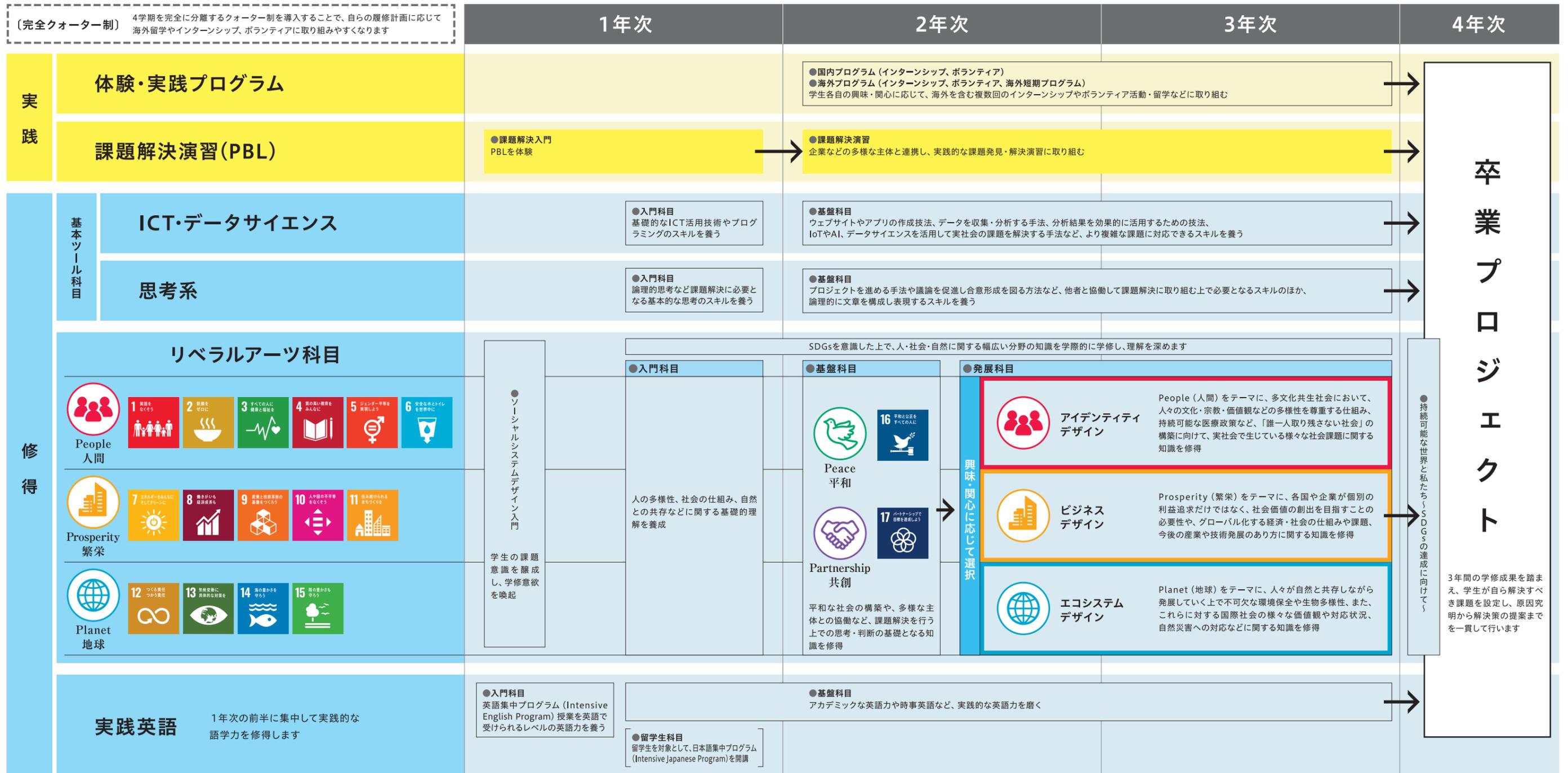
**Profile**  
国際機関職員・JICA専門家として4大陸9か国での勤務を経て現職。

## 海外提携校への交換留学

世界8の国や地域の11大学と、交換留学協定を締結予定です。※学外協力機関を窓口として、その他の大学への留学も可能です。



# 「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系



## 「ポート(port:港)」による学生支援

学生40人(1学年10人×4学年)程度を専門分野の異なる教員2人が担任する「ポート」を設け、学生支援の柱とします。教員2人の研究室と学生が滞在する部屋を隣接配置することで、日常的に教員と学生がコミュニケーションをとり、学修計画の立て方や履修科目の選択、学修方法についての指導・助言を受けやすい環境を整えます。

## キャリア形成支援

視野・可能性を広げるキャリア形成支援で学生の将来をサポート

### ジャンプスタートワークショップ

入学直後に、およそ1週間かけてジャンプスタートワークショップを行います。学生が入学までの生活や学習を振り返り、将来のキャリアプランやライフプランについて考える機会とします。また、このワークショップで集中講義として実施する「課題解決入門」や「ソシヤルシステムデザイン入門」で、社会課題に対する当事者意識を醸成します。

### キャリアセンター

学生の就職を支援するため、アドバイザーによる相談体制を整えるとともに、県内外の企業と連携し、企業からの求人情報や就職活動に必要な情報を提供します。また、企業やNPO、国際機関、地方公共団体など学外の多様な主体と連携するプラットフォームの窓口としての機能を担うため、学生のインターンシップ科目実施に際して支援を行います。

### イブニングラウンジ

社会の第一線で活躍している人と学生が自由に意見交換できる場として、イブニングラウンジを設定し、学生のキャリア形成を支援します。また、企業など学外の人と学生が交流できるよう、キャンパス建物1階にプロジェクトルームを整備し、キャリア意識の形成を促進します。

# 卒業プロジェクトと想定される進路



アイデンティティ  
デザイン

将来の夢

英語力を磨いて、  
海外の人たちとつながる  
仕事ができたらいいな

体験・実践活動

海外事業を展開する  
企業と連携した、  
海外ボランティアに参加

Aさんの  
場合

人と人とのより良い関わりを築きたい。

研究テーマ例

姉妹・友好都市との連携の推進  
や、産学官交流を通じて地域活  
性化への貢献ができないか

想定される進路

公共団体や、社会貢献活動を行う  
団体の企画・経営・事業部門、  
国際機関、国際NGOなど



ビジネス  
デザイン

将来の夢

新しいシステムや  
サービスを開発する  
会社を立ち上げたい

体験・実践活動

ICT企業での  
インターンシップに参加

Bさんの  
場合

社会を進化させる仕組みづくりに貢献したい。

研究テーマ例

宮島などに来る外国人観光客  
向けナビゲーションシステムア  
プリを開発できないか

想定される進路

グローバルに展開するものづくり  
企業・サービス産業の企画・事業  
部門など



エコシステム  
デザイン

将来の夢

発展途上国の  
女性や子ども達を助ける  
仕事がしたいなあ

体験・実践活動

海外の協定校へ  
交換留学

Cさんの  
場合

自然との共存で豊かな生活をつくりたい。

研究テーマ例

瀬戸内海における、牡蠣の自浄  
作用を活用した水質改善技術  
を、途上国できれいな水の確保  
に苦しんでいる人々のために使  
えないか

想定される進路

インフラ産業や環境に配慮した  
事業展開を志向する企業の企画  
部門など

# 学修環境



本学のキャンパスは15階建ての建物です。JR広島駅から徒歩約10分と通学における利便性が高く、市街地にありながら、静かで教育・研究に適した立地環境にあります。アクセスが良く、企業など多様な主体と連携しやすいため、質の高い学修プログラムを提供することができます。



14F 英語カフェ

英語ニュースが常時流れ、海外の雑誌が置いてあるので、授業以外の時間でも英語に触れることができます。留学生の出身国の情報や、広島での生活情報などを掲示することで、学生同士の交流を深められるよう整備します。



14F ラーニングコモンズ

課題解決演習などグループワークができるよう、ホワイトボードやミーティングテーブルを設置するほか、個別に学習できるスペースを設け、様々な学習方法に対応した自習スペースを確保します。



3F PBL演習室

可動式の机やイス、ホワイトボードを備えたグループワーク用スペースを複数用意し、授業時間外でもグループで学習できる環境を整えます。プロジェクトやスクリーンも整備し、学生の成果発表の場としても利用できます。

9~13F 学生寮

大学キャンパスの9~13階の5階層分を国際学生寮として提供します。部屋の種類は、80室程度の個室のほか、2人用・3人用の部屋も各5室用意する予定です。学生の責任感と主体性の確立を目指し、学生自治による運営を想定しています。学びと生活が一体化した環境と、言語・文化が交錯する多様な価値観の中で、学生たちが切磋琢磨し合い、人格的な成長を目指す場となります。国境を越えた、生涯にわたる友情を育ててください。

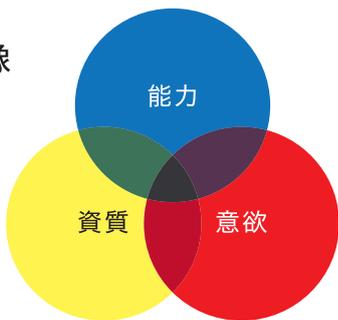


1R内観イメージ



## 求める学生像

次のような  
資質・能力・意欲を  
持った学生を  
広く国内外から  
受け入れます



- 基本的な学力 ● 幅広い視野
- 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係への強い関心と探求心
- 学ぶ意欲 ● 自らの能力の向上を目指す意欲
- 社会貢献意欲
- 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢
- 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
- 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢

## 入試情報 [令和3(2021)年度入学予定者]

※検討中であり、今後変更になる可能性があります。

入試区分	一般選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜	留学生選抜
定員(予定)	10人	20人	50人	20人

※学生募集要項は、設置認可後(令和2(2020)年8月の見込み)速やかに公表予定です。※詳しい出願資格・選抜方法などについては、認可前はお答えすることができません。ご了承ください。

## 学費など [令和3(2021)年度予定]

区分	広島県内出身者	広島県外出身者
入学料(入学時負担)	282,000円	394,800円
授業料の年額	535,800円	

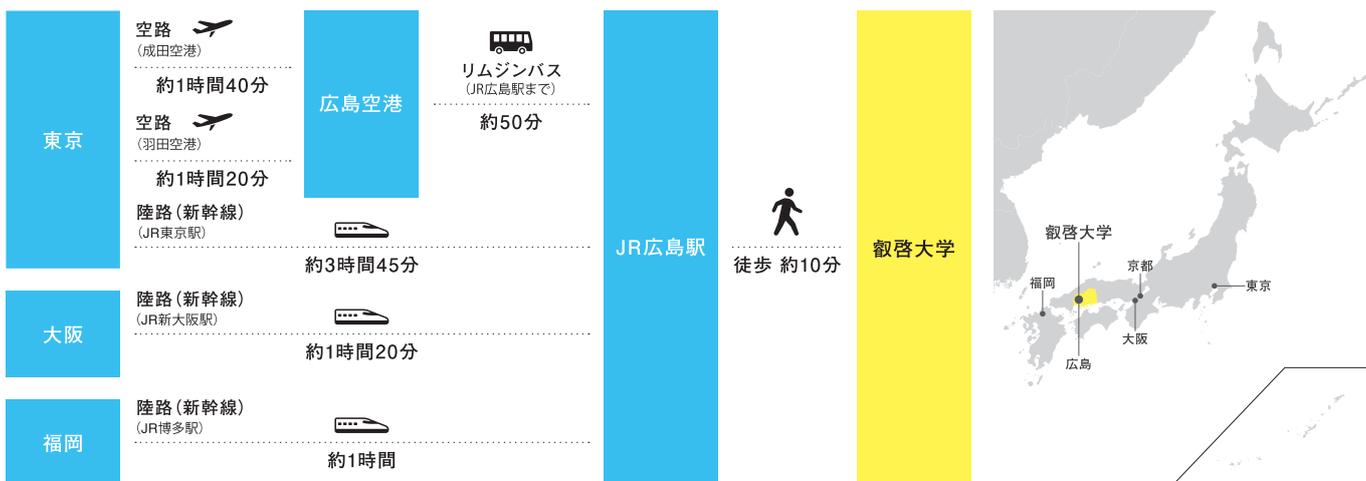
※その他、体験・実践プログラム参加費、留学費用などが別途必要です。

## 学生寮

場所	本学校舎建物内(9~13階)
収容人数	100人程度
使用料など	検討中

※外国人留学生を優先する予定です。

## アクセス



えい けい  
**叡啓大学**  
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

お問い合わせ先

新大学設置準備センター

〒730-0031 広島市中区紙屋町1丁目1-17 広島ミッドタウンビル11階

TEL:082-544-2225 E-mail:eikei-u-pr@pu-hiroshima.ac.jp

大学設置予定場所:〒730-0016 広島市中区幟町1-5